



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東 札

上場会社名 日本製粉株式会社

コード番号 2001 URL <http://www.nippon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小寺 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 理事 広報部長

(氏名) 満生 潔

TEL 03-3350-3900

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	73,867	7.2	2,194	△11.9	2,670	△14.2	1,790	△12.7
26年3月期第1四半期	68,881	1.6	2,489	10.2	3,113	9.4	2,050	33.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 2,521百万円 (△23.1%) 26年3月期第1四半期 3,279百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	10.83	—
26年3月期第1四半期	12.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	228,038	123,018	52.5
26年3月期	226,803	121,636	52.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 119,735百万円 26年3月期 118,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	148,000	5.5	4,500	△14.1	5,000	△16.6	3,200	△16.8	19.35
通期	300,000	4.5	10,000	△7.5	11,000	△10.2	6,800	△12.9	41.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	170,148,018 株	26年3月期	170,148,018 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	4,718,915 株	26年3月期	4,718,689 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	165,342,285 株	26年3月期1Q	165,403,582 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等の効果が下支えする中、企業業績や雇用情勢に持ち直しの兆しが見られるなど、国内景気は緩やかな回復基調が続いているものの、新興国経済の減速懸念や消費税増税後の個人消費の変化等もあり、依然として先行き不透明な状況のまま推移しました。

食品業界においては、円安に伴い原材料価格や電力料等のコストが上昇し、消費動向についても、人口の減少と高齢化の進行により国内市場が縮小していく中で販売競争が激化するなど、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは中期的な事業計画に代えて、これまでの基本施策を踏襲した単年度の経営基盤強化方針により、事業基盤の強化を進めております。引き続き収益体質改善のための設備投資とその早期戦力化を図り、海外事業を含む成長性の高い事業分野への進出に取り組んでいきます。製粉事業では、さらなるコスト競争力強化を図るため、自社原料サイロの保管能力を10万トン引き上げ、30万トンとする計画の一環として、当社福岡工場に2万トンの原料サイロを新設することを決定しました。海外事業では、ASEAN地域におけるグループの業務用食材及び加工食品の販売拡大を図るため、インドネシア共和国に現地法人「PT. NIPPON FOODS INDONESIA」を設立しました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は738億6千7百万円（前年同期比107.2%）、営業利益は21億9千4百万円（同88.1%）、経常利益は26億7千万円（同85.8%）、四半期純利益は17億9千万円（同87.3%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①製粉事業

本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が5銘柄平均（税込価格）で2.3%引き上げられたことに伴い、7月1日出荷分から業務用小麦粉の販売価格を改定しました。

当社グループは、食の安全・安心志向の高まりを受けて、品質管理の強化に努めるとともに、顧客ニーズや食の多様化に対応するべく新製品の開発、技術講習会の開催、提案営業の推進など、顧客に評価をしていただける取り組みを強化し、販売の拡大を図りました。その結果、国内の小麦粉の売上高は前年同期を上回りました。

副製品のふすまの売上高は前年同期を下回りました。

以上により、製粉事業の売上高は252億2千3百万円（前年同期比105.2%）、営業利益は6億7千万円（同71.8%）となりました。

## ②食品事業

業務用では、外食・中食業界の業務用専門展「ファベックス2014」等各種展示会への出展、イタリア料理技術講習会の開催など、積極的なマーケティング活動を展開しました。その結果、プレミックス類の売上高は前年同期を上回りました。

家庭用では、「お客様のニーズへの対応」と「キッチンの不満解消」をテーマに、全てのお客様にご満足いただける新商品の開発に注力、店頭の出場提案等の提案営業を積極的に推進し、基幹商品の拡売に努めました。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、売上高は前年同期を下回りました。

冷凍食品類では、主力商品である家庭用高級パスタの「オーマイプレミアム」シリーズに野菜不足解消をテーマにした「オーマイプレミアム彩々野菜」シリーズを投入するとともに、既存商品のリニューアルを実施し、ラインナップの充実を図りました。お弁当パスタについても、「お弁当たらコスパゲッティ」「新2種のスパゲッティ」が引き続き好調に推移した結果、販売数量、売上高ともに前年同期を上回りました。

中食関連食品の売上高は前年同期を上回りました。

以上により、食品事業の売上高は410億4百万円（前年同期比107.8%）、営業利益は14億3千4百万円（同98.7%）となりました。

## ③その他事業

ドーナツ事業及びエンジニアリング事業の売上高は前年同期を上回りましたが、ペットケア事業の売上高は前年同期を下回りました。

以上により、その他事業の売上高は76億3千9百万円(前年同期比111.5%)、営業利益は7千万円(同79.8%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ12億3千5百万円増加し、2,280億3千8百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が13億6千9百万円増加したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億4千7百万円減少し、1,050億2千万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が27億8百万円増加したこと、未払法人税等が23億6千1百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ13億8千2百万円増加し、1,230億1千8百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が6億7千2百万円、その他有価証券評価差額金が7億1千8百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、割引率決定の基礎となる債権の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が125百万円増加し、利益剰余金が124百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,859	12,418
受取手形及び売掛金	39,131	37,784
有価証券	1	1
商品及び製品	14,105	15,060
仕掛品	297	188
原材料及び貯蔵品	17,776	18,193
その他	3,672	4,580
貸倒引当金	△324	△285
流動資産合計	87,520	87,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,756	30,390
機械装置及び運搬具(純額)	18,879	18,711
土地	32,671	32,507
建設仮勘定	1,716	290
その他(純額)	2,018	1,978
有形固定資産合計	85,042	83,877
無形固定資産		
のれん	734	647
その他	808	756
無形固定資産合計	1,543	1,404
投資その他の資産		
投資有価証券	47,915	49,285
その他	5,112	5,863
貸倒引当金	△330	△331
投資その他の資産合計	52,698	54,816
固定資産合計	139,283	140,098
資産合計	226,803	228,038

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,769	28,478
短期借入金	19,767	20,360
未払法人税等	2,604	242
賞与引当金	454	462
その他	13,775	13,122
流動負債合計	62,370	62,667
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,104	14,332
退職給付に係る負債	4,488	4,524
役員退職慰労引当金	1,105	901
その他	12,098	12,593
固定負債合計	42,796	42,352
負債合計	105,167	105,020
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	10,666	10,666
利益剰余金	83,519	84,191
自己株式	△1,607	△1,607
株主資本合計	104,818	105,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,609	15,327
繰延ヘッジ損益	3	△5
為替換算調整勘定	363	295
退職給付に係る調整累計額	△1,436	△1,372
その他の包括利益累計額合計	13,539	14,245
少数株主持分	3,278	3,283
純資産合計	121,636	123,018
負債純資産合計	226,803	228,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	68,881	73,867
売上原価	50,701	54,901
売上総利益	18,179	18,965
販売費及び一般管理費	15,690	16,771
営業利益	2,489	2,194
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	452	489
その他	419	213
営業外収益合計	882	710
営業外費用		
支払利息	144	107
社債発行費	73	—
その他	39	125
営業外費用合計	258	233
経常利益	3,113	2,670
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	32	19
特別損失合計	36	19
税金等調整前四半期純利益	3,083	2,651
法人税、住民税及び事業税	344	186
法人税等調整額	690	657
法人税等合計	1,034	843
少数株主損益調整前四半期純利益	2,048	1,808
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	17
四半期純利益	2,050	1,790



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,048	1,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	898	719
繰延ヘッジ損益	△11	△8
為替換算調整勘定	338	△66
退職給付に係る調整額	—	63
持分法適用会社に対する持分相当額	5	5
その他の包括利益合計	1,231	712
四半期包括利益	3,279	2,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,274	2,496
少数株主に係る四半期包括利益	5	25

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,978	38,051	62,030	6,851	68,881	—	68,881
セグメント間の内部売上 高又は振替高	584	138	722	637	1,359	△1,359	—
計	24,563	38,189	62,753	7,488	70,241	△1,359	68,881
セグメント利益	933	1,453	2,386	88	2,475	13	2,489

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額13百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,223	41,004	66,227	7,639	73,867	—	73,867
セグメント間の内部売上 高又は振替高	548	174	722	359	1,082	△1,082	—
計	25,771	41,178	66,949	7,999	74,949	△1,082	73,867
セグメント利益	670	1,434	2,105	70	2,176	18	2,194

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額18百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。